

最近よく聞くようになった  
医療用語をわかりやすく解説

【栄養指導】

栄養指導は、健康的な生活を送るために重要であり、患者様が状況にあった生活管理ができるまでの、一連の系統的な活動です。医師の診断後に指示された食事内容に基づいて、入院や外来の患者様に対して管理栄養士により行われます。更に食事療養・栄養状態改善の必要性を理解してもらい、臨床的効果を挙げ、食事に関して自己管理できるようにします。

【特定療養費（初診時の保険外併用療養費）】

平成8年健康保険法の改正で、地域の医院・診療所と200床以上の病院との役割分担と連携を進めるため、200床以上の病院での初診に対して、他の医療機関からの紹介状がない場合には、特定療養費をご負担していただくこととなります。

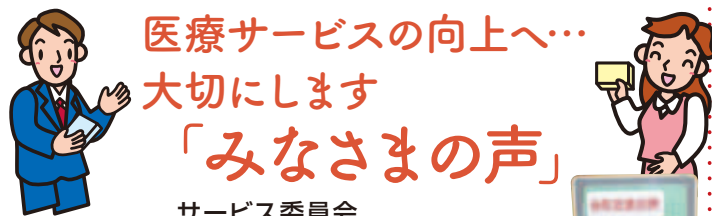
喫煙は病気です

煙草は嗜好品だからいつでも止められると思っている方が多いの  
でしょう。厚生労働省の調査では、成人男性の約37%、女性の約9%が現在も喫煙しており、実際のところ喫煙率はあまり下がっていません。なかなか煙草を止められないのが実状です。というのは、知らず知らずのうちにニコチン依存症、つまり「喫煙病」になっているからです。喫煙は、肺がん、肺気腫、喘息、脳梗塞、心筋梗塞の原因として知られていますが、現在では高血圧、糖尿病、高尿酸血症、脂質異常症などの生活習慣病や全身のがん、うつ病などの原因の1つとも指摘されています。また、受動喫煙による同様の健康被害も社会問題になっており、厚生労働省の発表では、受動喫煙が原因で肺がんや心筋梗塞だけでも亡くなった人が少なくとも約6,800人、交通事故で亡くなった人よりも多いとされています。



喫煙には禁煙治療が必要です。現在は禁煙補助薬もあり、禁煙外来にてほとんどの場合、保険診療で治療が受けられます。自身の健康、家族のためにも禁煙外来を受診しましょう。当院健診部でも保険診療外ですが禁煙支援の準備を始めています。新病院では禁煙外来を開設し保険診療を行う予定です。(文責:総合健診部 遠藤宗臣)

喫煙には禁煙治療が必要です。現在は禁煙補助薬もあり、禁煙外来にてほとんどの場合、保険診療で治療が受けられます。自身の健康、家族のためにも禁煙外来を受診しましょう。当院健診部でも保険診療外ですが禁煙支援の準備を始めています。新病院では禁煙外来を開設し保険診療を行う予定です。(文責:総合健診部 遠藤宗臣)



医療サービスの向上へ…  
大切にします  
「みなさまの声」

サービス委員会

病院内に設置されている投書箱にて皆様のご意見をお寄せください。改善に努力いたします。

**声** \* 血液検査や尿検査のデータ項目が専門用語になっているので、日本語で「白血球」や「総コレステロール」のように分かりやすく記載していただきたいです。

⇒以前にも、患者様からご指摘を頂き、検討を重ねておりますが、検査システムの都合上、データの日本語表記での対応は難しいところがございます。結果をお渡しする際には担当医師より、詳しく説明した上でお渡しをするように致しますので、ご理解頂ければと思います。

**声** \* ①西病棟2階の授乳室に手洗いのソープを置いてください。(ゴミ箱も)。  
②お湯はどこでもらえますか?ミルクを作るのに困りました。授乳室は母乳専用なのでしょうか?

⇒①授乳室の手洗いのソープにつきましては、早速設置をさせて頂きました。ゴミ箱については、衛生面上、2階産婦人科外来の横のトイレに設置してあるゴミ箱をご利用頂ければと思います。

②授乳室はもちろん母乳専用ではございませんが、お湯は安全と衛生の観点から、現在は当院でのご用意は控えさせて頂いております。ご不便をお掛けいたしますが、お湯はご自宅からご持参くださいますようお願い申し上げます。

平日の夜間診療はこちらへ

太田市平日夜間急病診療所

TEL.0276-60-3099

太田市飯塚町1549-1 太田市総合健康センター2階

診療日/月・火・水・木・金・土 ※日・祝祭日・年末年始は休診となります。

受付時間/午後6時45分~午後9時45分



総合太田病院だより

ほーぷ

Fuji Heavy Industries Health Insurance Society  
OTA GENERAL HOSPITAL PR BROCHURE

TEL.0276-22-6631(代) FAX.0276-25-7498

〒373-8585 群馬県太田市八幡町29-5

http://www.ota-hosp.or.jp

⇒総合太田病院の移転建替えのご案内

⇒敬老の日のイベント



総合太田病院  
看護部長  
岩崎かほる

昔の日本人の心を大切に—看護の現場に伝えたい

私達を囲む、経済社会状況は厳しく新聞、ニュースを聞くと暗くなる話題が多く、元気がなかなか出ないですね。医療を取り巻く状況も同じですが、今直面する医療看護の問題と向き合い自己の力不足を感じながらも、少しでも地域の方が安心できる医療環境を提供できる様に努力したいと思います。現代は人との係わりを嫌い、人を排除する環境となりつつあるように感じています。その事は、より人間関係を複雑にし、精神を病む事を助長しているように思います。そんな時こそ、昔の日本人が大切にしてきた言葉「困った時はお互い様」を大切にしたいと思うよう

になりました。一人ひとりが自分の置かれた中で「困った時はお互い様」の心をもって接し「少しの勇気と少しの行動」で人は温かなれるのではないのでしょうか?同様に、看護についても昔を振り返ることが必要なのかもしれません。確かに看護する上でマニュアルやシステムは必要です。しかし、それ以上に人に寄り添う看護の原点は「普通に生きることの喜び」を支えるために、「その人らしさに合わせる事」なのだと感じます。改めて看護の原点に帰り看護の現場に伝えてゆきたいと思います。



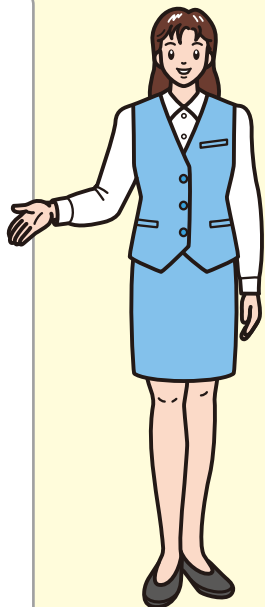
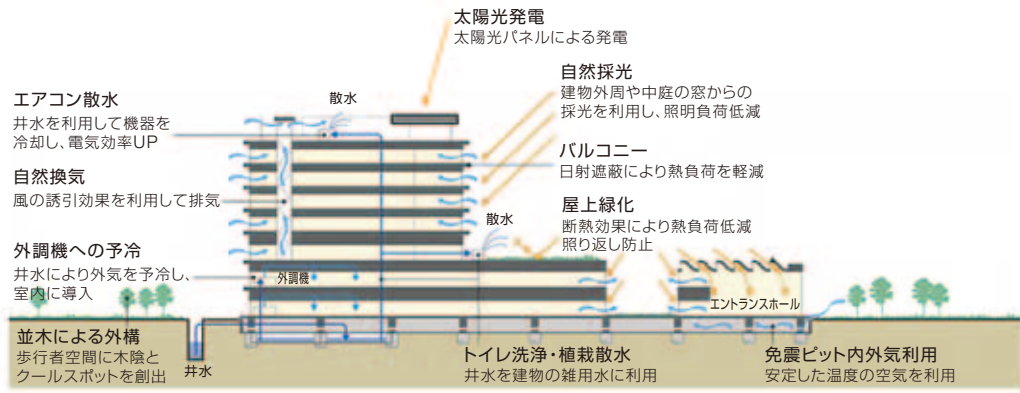
# 総合太田病院の移転建替のご案内



当院では、現施設の老朽化・敷地の狭小により、平成24年度の開院を目指して、太田市大島町を移転先として、建替え計画を推進しております。  
(現病院から西へ約700mの東武桐生線の西側沿い)

## 【新病院での主な取り組み】

新病院でのいろいろな取り組みの一つに省エネルギー対策への取り組みがあります。井水を建物の雑用水(植栽散水やエアコン冷却水など)として利用したり、自然採光、自然換気の有効利用、また太陽光発電による光熱水削減など、敷地の特徴を活かした対策を計画しています。



# 「総合太田病院ふれあいフェア2010」開催

皆様と病院全体とのふれあいの場を提供することを目的に、「総合太田病院ふれあいフェア2010」を平成22年10月9日(土)に開催いたしました。過去4回を数えたこれまでの「健康フェア」に加え、第1回目の病院フェアとして、心筋梗塞、脳卒中、認知症、血管外科の最新治療などの医療情報、さらには禁煙支援、妊婦疑似体験、キッズ手洗い教室、マッサージ、ベビーマッサージ、災害対策、新病院建設計画などのコーナーを新たに設け、皆様との交流を図らせていただきました。

講演会では当院循環器内科部長、小林医師が「動脈硬化と心臓病」のお話に熱弁を振りました。



朝からの小雨混じりで午後には本格的な秋雨というあいにくのお天気でしたが、各コーナーや講演会に、合わせて400名に及ぶ多くの皆様のご来場をいただき、盛会裏に終了することができました。ありがとうございました。

バザー、骨密度測定、マッサージのコーナーで賜りました皆様からのご芳志は、例年どおり太田市社会福祉協議会へ寄付させていただきました。

皆様との交流の場としてのこの企画を、来年、再来年と、さらに発展させてまいりたいと考えております。来年もまた、是非お足をお運びください。一同お待ちいたしております。



## 診療科紹介 泌尿器科・腎臓内科外来の紹介 特色および診療内容



泌尿器科 部長  
杉山 健

泌尿器科・腎臓内科外来は、第二外来の向かって左側にあります。泌尿器科医師3名、腎臓内科医師2名が交替で診療にあたり、また看護師は3名このスタッフで一日平均65名(平成22年8月現在)の患者さんの診療を行っております。当科の特色としては腎臓内科においてタンパク尿・腎炎から慢性腎不全・透析療法まで、泌尿器科において透析の

ためのシャント造設・腹膜透析カテーテル留置から腎移植までの腎疾患包括的医療が行えることが挙げられます。さらに泌尿器科は膀胱炎・前立腺肥大症といった良性疾患から前立腺癌・腎臓癌・膀胱癌といった悪性疾患にいたるまで一般的な泌尿器科疾患を取り扱っております。しかし、医療技術・知識の進歩には目覚ましいものがあり、当科のみで先進的な医療技術すべてを行える訳ではありません。当科のもうひとつの特色に、地域施設との連携が挙げられ、情報を提供することにより患者さんが希望した際には積極的に地域内外を問わず紹介する体制をとっております。その際には是非ご相談ください。

## 看護部からのお知らせ▶06 敬老の日のイベント

### 「風呂敷文化を次の時代へ」 1300年もの「心」を包み続けて…9月16日

「風呂敷文化を次の時代へ」のテーマで敬老の日のイベントを桐生風呂敷の会より3名の講師を迎え開催致しました。当日は患者様20名と一緒に、奈良時代に遡る事が出来ました。「ふるしきの包みかたは、基本的なもので100種類あり、それにバリエーションやアレンジも加わるので500種類以上になります。風呂敷で包めないものはありません」との話で始まりました。丸いものを包む「スイカ包み」「ティッシュ箱包み」から始まり、たった一枚の布が手提げバックやリュックサックに早変わりしていく様子はまるで、手品をみているような手さばきに一同感激でした。参加された患者様には馴染み深い風呂敷であり懐かしんで会話も弾み、手提げバックやリュックサックを作成し和やかな講習会となりました。

一枚の布で、何でも包めてしまう日本独自の文化「風呂敷」とエコロジーの象徴としての「風呂敷」は今後活躍の場が広がりそうです。1300年もの間、様々な物を包み



続けてきた風呂敷、この日は、参加者全員の心も歴史と懐かしさでふんわり優しくつつまれた気がしました。



今の時代こそ日本人の工夫と知恵を私達は継承してゆることが大切だと思えました。参加された患者様も楽しい時間を過ごせたでしょうか?看護部はこれからも安らげる時間を大切に来年につなげてゆきたいと思っております。

